

教 育 委 員 会 会 議 次 第

令和7年7月10日（木）15:05
小倉北区役所6階 教育委員会会議室

1 開 会

2 案 件

(1) 議案

議案第12号

「令和8年度に北九州市立特別支援学校・学級で使用する附則9条本及び
北九州市立高等学校で使用する教科用図書の採択について」

(学校教育課長)



議案第13号

「いじめ重大事態の調査結果の報告について」

(学校支援担当課長)

3 閉 会

教 育 委 員 会 （ 定 例 会 ）

- | | | | |
|---|-------|--|---|
| 1 | 開催年月日 | 令和7年7月10日（木） | |
| 2 | 開催時間 | 15:05～16:21 | |
| 3 | 開催場所 | 小倉北区役所6階 教育委員会会議室 | |
| 4 | 出席者 | （教育長） 太田 清治
（教育委員） 大坪 靖直、郷田 郁子、香月 きょう子、中島 良、清成 真 | |
| 5 | 事務局職員 | 教育次長
総務部長
教職員部長
学校教育部長
教育相談・特別支援教育担当部長
教育研修監理官
総務課長
企画調整課長
教職員課長
学校教育課長
教育振興担当課長
生徒指導課長
学校支援担当課長
学校支援担当課長
特別支援教育課長 | 大庭 千枝
富原 明博
久保 慶司
竹永 政則
田尾 弘
澤村 宏志
越智 豊
栗原 健太郎
岡本 裕史
武藤 佐予
大石 仁美
山中 孝一
中村 国彦
辻 健一郎
森永 勇芽
香月 亨太
橋 幸佑 |
| 6 | 書 記 | 総務課庶務係長
総 務 課 | 香月 亨太
橋 幸佑 |
| 7 | 会議の次第 | 別紙のとおり | |

教育委員会(定例会)会議録（令和7年7月10日）

1 開 会

15:05 太田教育長が開会を宣言

2 会議録署名委員の指名

太田教育長が会議録署名委員に、香月委員と郷田委員を指名。

以下の案件を非公開にすることを議決

- ・議案第13号「いじめ重大事態の調査結果の報告について」

太田教育長／まず最初に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第6項に基づき、大坪委員には一時退席をお願いする。

（大坪委員退席）

3 案 件

（1）公開案件

議案第12号「2026年度（令和8年度）に北九州市立特別支援学校・学級で使用する附則9条本及び北九州市立高等学校で使用する教科用図書の採択について」

本議案の提案理由を学校教育課長、特別支援教育課長が説明。

郷田委員／今回、時代にそぐわないとして除外された書籍が相当数あったと理解している。「明らかに不適切」と判断したものもあれば、「迷いつつ残した」ものもあったのではないかと。今後、時代に合わせた見直しはどの程度の頻度で行う方針か。

特別支援教育課長／特別支援学校及び特別支援学級で使用する教科用図書の採択は、毎年教育委員会会議で審議している。教科書選定の基準も、福岡県から示された基準を踏まえ、教員等と毎年審議している。その年ごとの人権感覚や社会情勢を考慮しつつ、福岡県の観点と合わせて検討していく。

郷田委員／書籍は大人向け・子ども向けともに、スマートフォンやキャッシュレスなど現代の生活に即した内容が増えている。今回は除外されたものが多い一方、新たに採択されたものはそれほど多くない印象である。今を生きる子どもたちの学びのため、現代的な内容を積極的に取り入れる観点から検討をお願いしたい。

中島委員／削除された図書について異論はないが、「読み物」としてではなく「教科書」としての基準で選定されたと理解している。その教材で得られていた学びや価値は、新たな図書で保障されていると考えてよいのか。

特別支援教育課長／五味太郎氏の「言葉図鑑」については、「こどもことば絵じてん」など、言葉を絵で表現した別の図書を採択しており、学習内容は別の図書によって担保されると考えている。

中島委員／次に、資料42ページの「くらしに役立つソーシャルスキル」4冊について伺う。選挙や働くことなど将来の自立に重要なテーマが扱われており、良い内容と

感じた。中学部用として位置付けられているが、高等部ではなく中学部で採択した理由を伺いたい。

特別支援教育課長／本書は、知的障害特別支援学校中学部２段階の生徒用として位置付けている。高等部で使用しないという趣旨ではなく、中学部の段階で採択しておき、高等部でも必要に応じて学び直しに活用する想定である。知的障害のある生徒は新たな知識の定着が難しい面があり、繰り返し学習できるよう中学部段階での採択とした。

中島委員／今ご説明にあったように、繰り返し学ぶ、長期間かけてしっかり学んでいくということが主眼にあるということで納得した。

太田教育長／「子どもの健康を考える絵本」の中で、けがの対処法として「あかチンキ」が登場しているとの説明があった。この薬剤の現状について、香月委員の専門的見地を伺いたい。

香月委員／あかチンキには水銀が含まれており、現在は使用していない。医療機関からは基本的に回収されているため市場には出回っていないはずである。

太田教育長／医学的な観点を含め、今後も教科書内容を幅広く点検していく必要があると考える。

中島委員／情報Ⅱの教科書について伺う。３年生用として選定するとのことであるが、それまでの情報科の学びとの連続性は、この新たな教科書で担保されるのか。また、前回の会議で、市立高校では「探究的な学び」に力を入れていると伺った。情報Ⅱの教科書が探究的な学習の面で優れている点があれば説明を求める。

教科書担当指導主事／情報Ⅱの教科書では、１０～１１ページに「情報Ⅱを学ぶ前に情報Ⅰを学ぶ」と明記しており、情報Ⅰとの連続性を前提とした構成になっている。現在使用している情報Ⅰの教科書は、配付資料１ページのとおり数研出版のものである。一方、今回選定予定の情報Ⅱの教科書は日文のものであり、教科書会社は異なる。

中島委員／３年生段階で教科書会社を変更することによる連続性への影響と、新しい教科書の優位性について説明を求める。

教科書担当指導主事／今回の教科書では、各ページに登場人物のセリフがあり、高校生の日常の不安や疑問から学習が始まる構成になっている。例えば２０ページでは、「いろいろなサイバー犯罪があって不安だ」といったセリフから、「何を調べ、何を考えるか」という学習の流れが示されている。

また、９０ページの章末実習２「Web アプリケーションの作成とデータベースとの連携」では、生徒の発言をもとに展開し、QRコードを用いて参考例やヒントにアクセスできるようになっている。これにより、生徒が自主的・応用的な学習に取り組みやすい構成となっている。こうした工夫が随所に見られ、探究的・主体的な学びを促す教科書である。

学校教育課長／情報Ⅰとの系統性については、情報Ⅰの内容を振り返るページが設けられており、会社は異なるものの学習内容として大きな違いはない。学習内容のポイントを押さえつつ系統性を意識した構成となっているため、採択候補とした。

中島委員／教科書会社の変更による混乱を抑えつつ、生徒の実情に合った深い学びを支える教科書であると理解した。

香月委員／保健体育の教科書について質問する。保健では「Textbook」と、６人程度で使用するグループワーク用の「Activity」があるが、Activityで取り上げる内容が少なくなっている印象を受ける。この点について問題はないのか、。

保健体育担当指導主事／Activityについては、指摘のとおり内容を精選している。ただし、学習指導要領に基づいて作成されており、Textbookを十分に学習すれば、生徒に必要な内容は伝わる構成であると考えている。

香月委員／Textbookについては問題ないと思うが、Activityの内容選択基準について伺いたい。

保健体育担当指導主事／Activityは、各単元で特に重要なポイントに絞って設定されている。内容を精査したうえで、大事な論点を押さえる構成になっていると判断している。

学校教育課長／Activityを取り入れた教科書を採択したのは、限られた授業時間の中で知識を詰め込むのではなく、絞り込んだテーマについてグループワーク等を通じて全員で討議させ、自分事として深く理解させることを重視したためである。その上で、生徒自身が関心を広げ、必要な知識を自ら調べて身に付けていく学び方を意図している。

中島委員／英語コミュニケーションⅠについて伺う。来年度の1年生から教科書を切り替えるとのことであるが、市立高校が育成を目指す力と、今回候補の教科書との関係について説明を求める。

外国科担当指導主事／本市中学校では光村図書の「Here We Go!」を使用しているが、今回の「Bloom」はその構成と親和性が高い。14ページに見られるように、単元の導入で写真を見たり英文を聞いたりしながら、自分の考えや気持ちを表現させる構成となっている。

国の方針でもある「英語で自分の思いや気持ちを表現する力」を育成する上で、BloomのEnglish CommunicationⅠは、読解だけでなく、「読んだ内容を踏まえ、自分の言葉で考え、表現する」という活動が充実している点が特徴である。

中島委員／中学校での学びを踏まえ、市立高校の環境の中でさらに自ら発信力を高めていける教科書であると理解した。

清成委員／公共と政治・経済の教科書について伺う。いずれも同じ出版社か。その場合、連続性の面では良いと考えるが、この教科書の特徴、採択理由を簡潔に説明してほしい。

社会科担当指導主事／公共・政治・経済とも教育図書の教科書である。公共の89ページを例に説明するが、生徒が社会生活の中で直面し得る身近な問題を、絵や漫画で分かりやすく示している。実際の場面を想定しながら社会問題の課題解決の手立てを考えられるよう構成されている。

90ページでは、その時間の学習課題、用語解説、課題解決のための資料等が適切に配置されており、学習の流れが整理されている。

清成委員／全体を通して目を通したが、内容はかなりハイレベルで、学術的な部分に踏み込んでいる箇所もあると感じた。授業では教員が必要な情報を取捨選択しながら指導してほしい。

太田教育長／情報ビジネス科3年生で履修する「歴史総合」について、山川出版社の教科書を採択候補としている。山川を選んだ理由を伺いたい。

社会科担当指導主事／山川出版社の教科書は、他の社会科分野との関連を図りながら学習できる構成が特徴である。巻頭4ページの「世界の舞台」では、世界の地形や気候等の特色に触れつつ、歴史的な視点で学びを進めることができる。

また、巻末162ページには、歴史的背景から見た社会課題をSDGsを題材として考える特設ページがあり、地理や歴史との関連を意識した学習ができるようになっている。

太田教育長／東京書籍の教科書との違いについても伺う。東京書籍は見開きで学習課題「Q」、確認の「チェック」、発展的な「トライ」などがセットになっている。一方、山川の教科書には同様の欄はない。この点について、どのように判断したのか。

市立高校副校長／山川の教科書には、東京書籍のような各時間ごとの「まとめ」欄は設けられていない。ただし、教員の意見として、山川の教科書は歴史資料の現代語訳がされており、生徒にとって理解しやすい点が評価されている。

授業では、単時間ごとの「まとめ」ではなく、単元全体の問いを設定し、一定期間で知識を学んだ上で、最後に「現在の自分たちにつながる課題」を考える構成で進めることを重視している。その観点から山川の教科書を選定した。

太田教育長／その意味では、探究学習としてどう捉えるかという観点で選んでいるということか。歴史資料の現代語訳が分かりやすい点と、単元全体を問いで捉え探究的に学ぶ構成になっている点を踏まえて選定したという理解である。

原 案 可 決

(関係者以外退出)

(大坪委員入室)

(2) 非公開案件

議案第13号「いじめ重大事態の調査結果の報告について」

本議案の提案理由を学校支援担当課長が説明。

原 案 可 決

4 閉 会

16:21 太田教育長が閉会を宣言